

小野町 橋梁長寿命化修繕計画



長生橋

令和 5 年 3 月 初版

令和 6 年 12 月 改定

福島県田村郡小野町

— 目 次 —

I. 様式1-1

※（ ）は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 (・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針)	6
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 (・費用の縮減に関する具体的な方針)	8
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 (・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費)	15
6. 長寿命化修繕計画による効果	15
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	16

—国土交通省—
インフラ長寿命化
基本計画における記載事項

1. 対象施設
2. 計画期間
3. 対策の優先順位の考え方
4. 個別施設の状態等
5. 対策内容と実施時期
6. 対策費用

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度 及び対策内容・着手時期又は架替え時期	17
--	----

III. 優先順位一覧表	19
--------------	----

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 小野町の現状

福島県中通りの中部、田村郡の南部に位置する、人口9,018人（2022年10月1日現在）面積125.18km²の小野町は、周囲が矢大臣山、高柴山等の標高700m以上の阿武隈山系の山々に囲まれ、中央を南下する右支夏井川に沿う平坦地に市街地を形成しています。

町中心部の標高は約400mと比較的高く気候は内陸性の山岳気候で、夏季の最高気温は35度になることもあります。冬季の最低気温が氷点下10度程度になることもあります。年間の降水量は比較的少ない地域となっています。

町内には国道349号のほか主要地方道小野田母神線等10本の県道が通っているほか、磐越自動車道が町の中央を縦断しており、小野ICであぶくま高原道路と連結し、東北自動車道や福島空港へのアクセス路となっています。またふくしま復興再生道路として、現在県道吉間田滝根線広瀬工区の建設が進められており、開通による浜通りから県中都市圏への良好なアクセスが期待されています。

町内には総延長238.16kmの町道が整備され、管理する橋梁は87橋あります。30m以上の橋梁11橋のうち10橋が右支夏井川に架かり、1橋はあぶくま高原道路を跨ぐ跨道橋となっています。町では1巡目点検以降、順次補修等の対策を実施しています。

福島県内市町村位置図



2) 背景

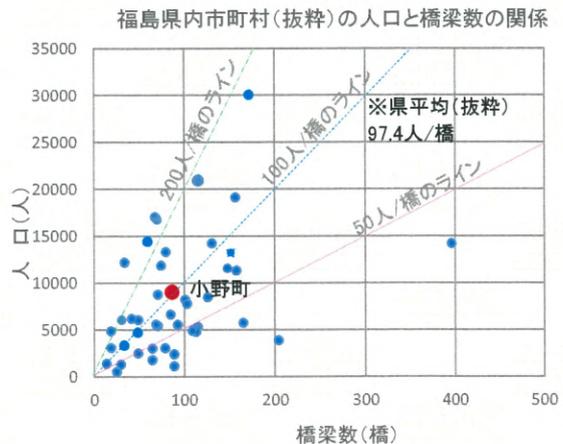
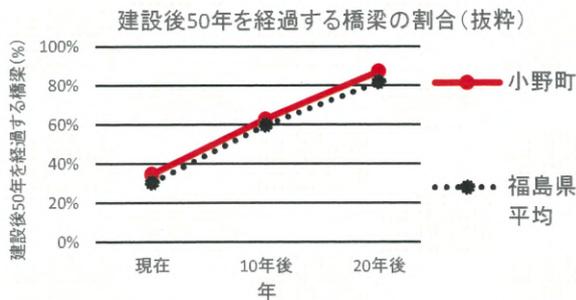
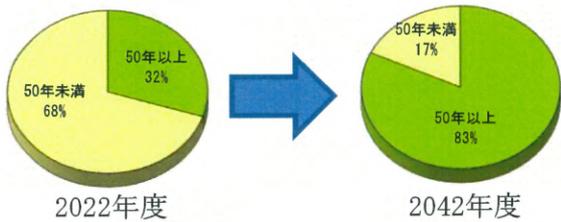
町の管理する橋梁87橋の中で、2022年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の32%ですが、10年後の2032年には58%、20年後の2042年には83%と増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対し、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。

近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
小野町	125.18	9018	72	87	0.7	104
古殿町	163.29	4774	29	113	0.7	42
玉川村	46.67	6172	132	42	0.9	147
川内村	197.35	2371	12	88	0.4	27

人口は2022年現在

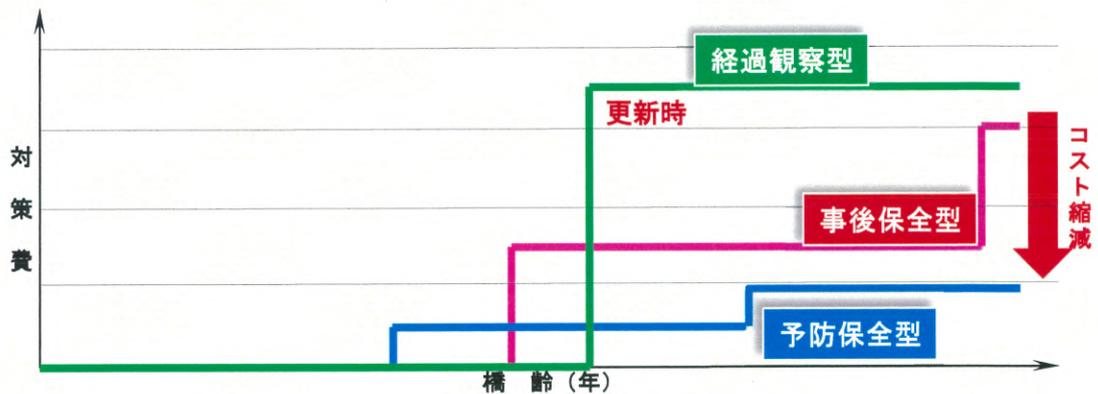
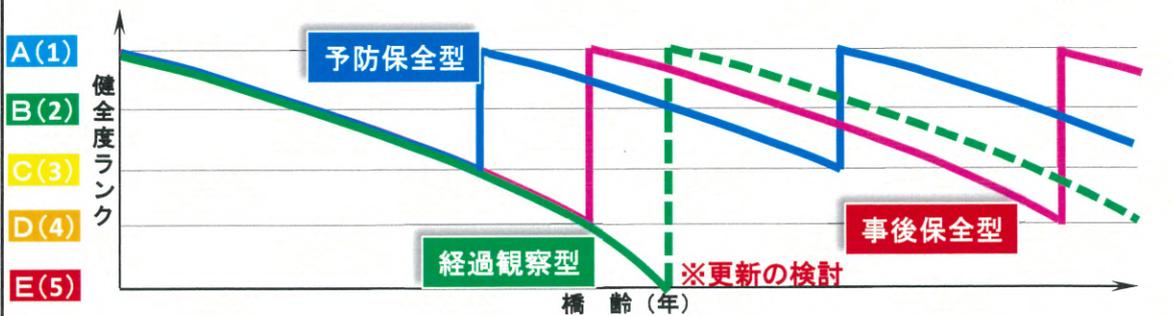


3) 目的

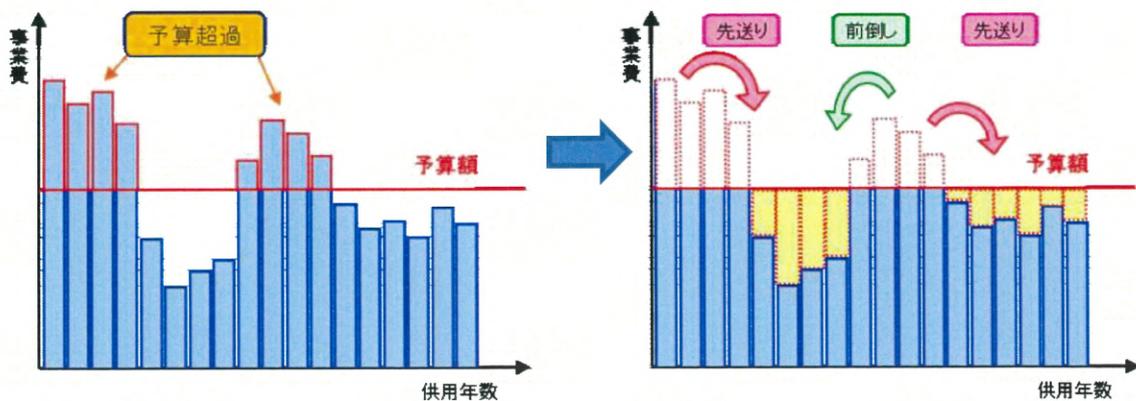
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト削減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで小野町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ

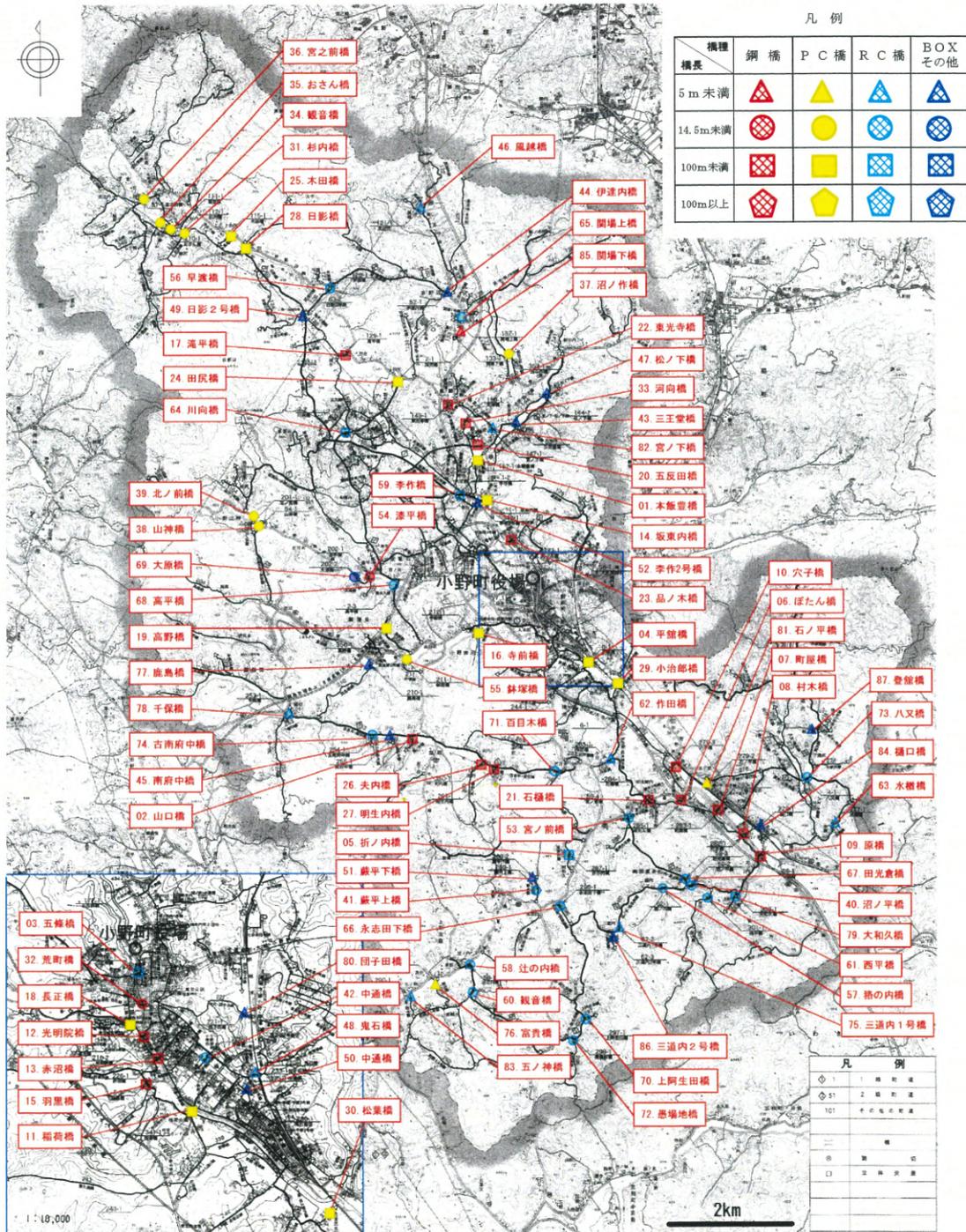


予算平準化のイメージ

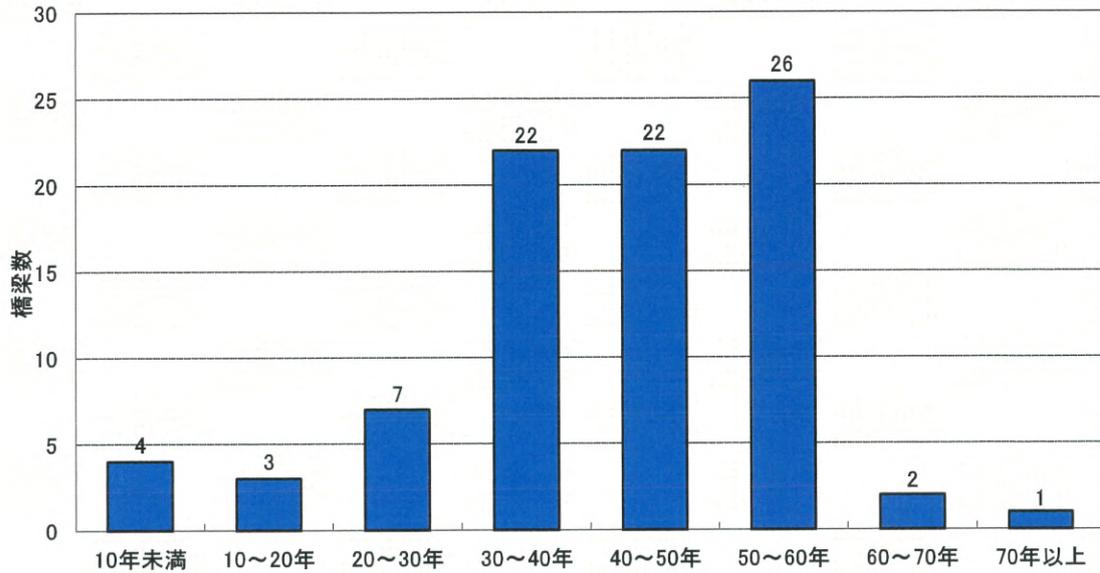
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁
(1. 対象施設)

	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数	7	12	68	87
うち計画の対象橋梁数	7	12	68	87
うちこれまでの計画策定橋梁数	7	13	66	86
うち2022年度計画策定橋梁数	7	12	68	87

長寿命化修繕計画の対象：小野町が管理する橋長2.0m以上の橋梁全87橋を対象とします。



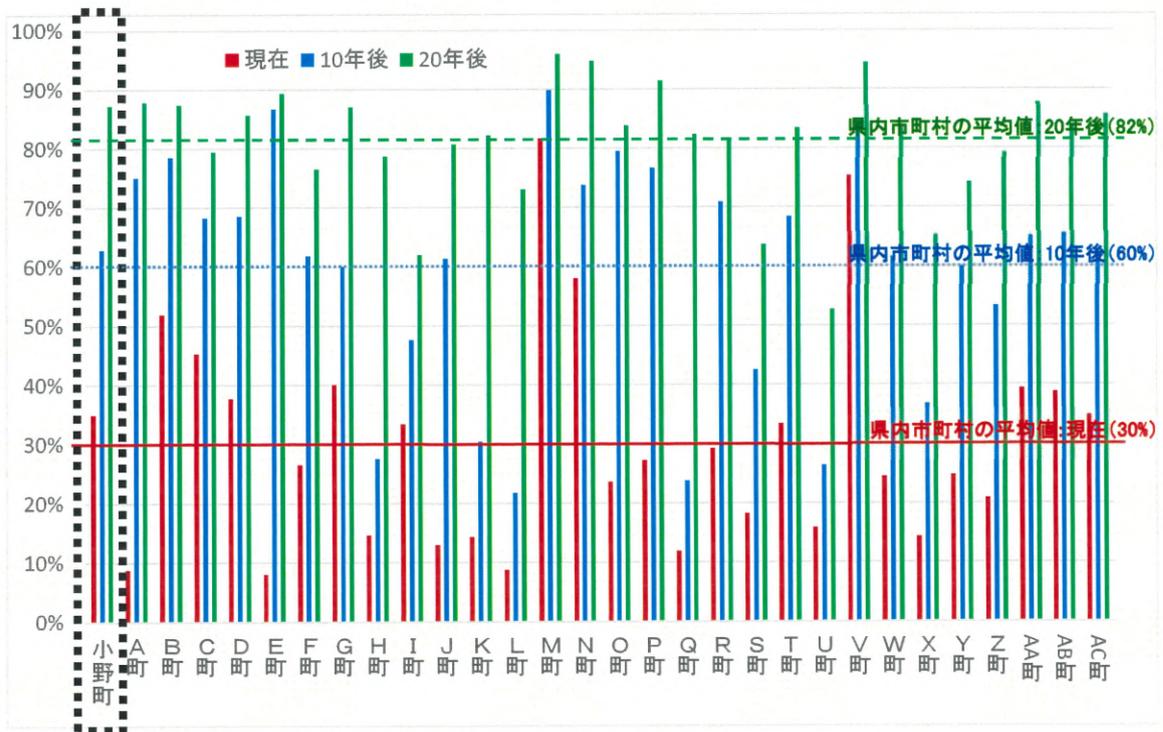
経過年数別橋梁数

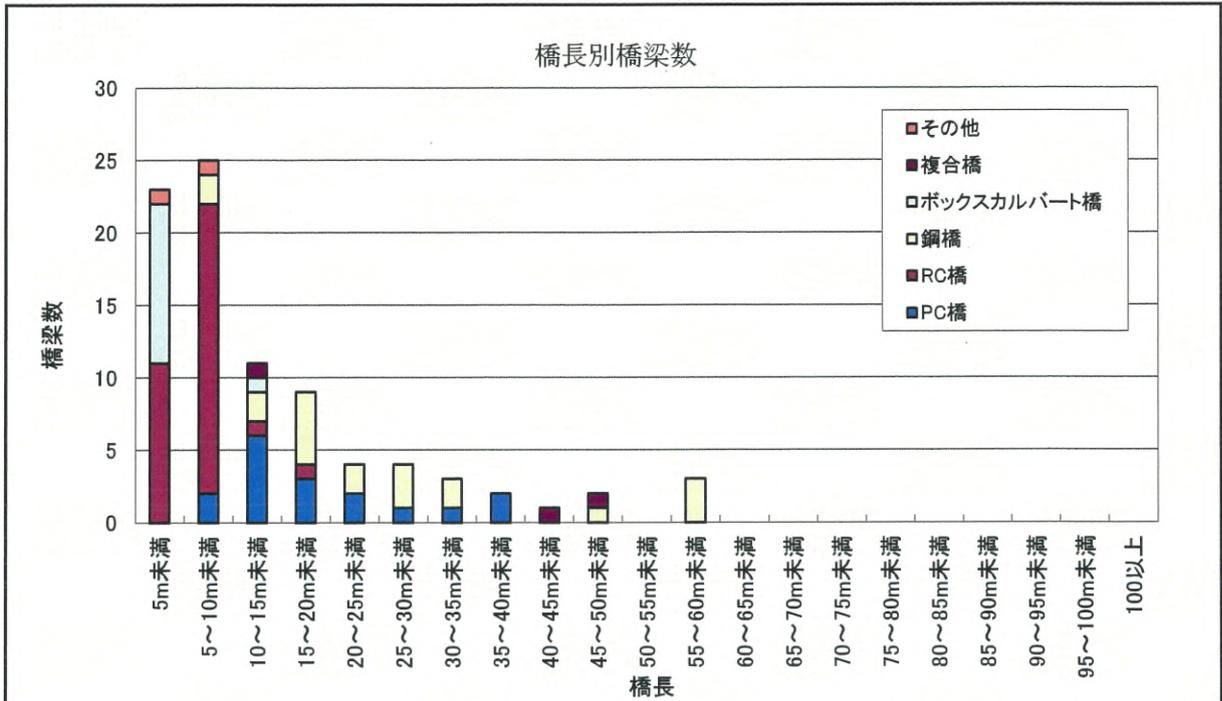


経過年数別橋梁数

長寿命化修繕計画で対象としている87橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は29橋あり、全体の32%を占めています。

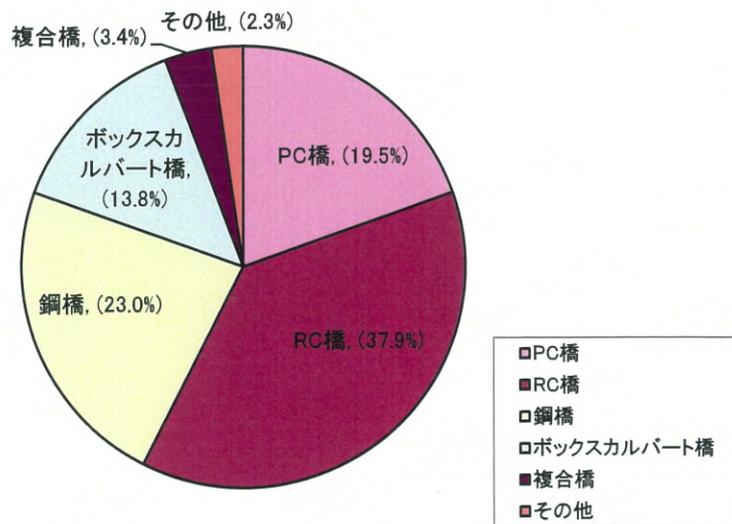
県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合





長寿命化修繕計画で対象としている87橋のうち、10m未満の橋梁が48橋あり全体の55%を占めています。一方、20m以上の橋梁は19橋あり、全体の22%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



上部工使用材料別ではPC橋が17橋で全体の約19.5%、RC橋が33橋、ボックスカルバート橋が12橋でコンクリート橋が全体の71%を占めています。鋼橋は20橋となっています。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針
(2. 計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」(平成31年2月)に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

(・新技術等の活用方針)

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に2巡目点検において、損傷が無しまたは軽微で、判定区分が「I」となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁については、AI診断等の活用を検討し費用の縮減やとりまとめ作業の効率化に努めていきます。その他、3巡目点検時においては、1橋程度について画像解析等の新技術の活用を目指し、検討していきます。

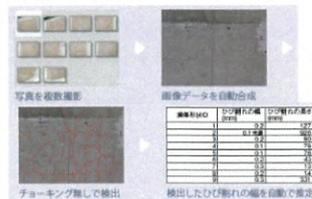
修繕工事については、計画期間における短期目標として、令和7年度から令和10年度までに実施予定の5橋について、新技術を活用することで従来工法と比較して800万円程度の縮減効果を目指します。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



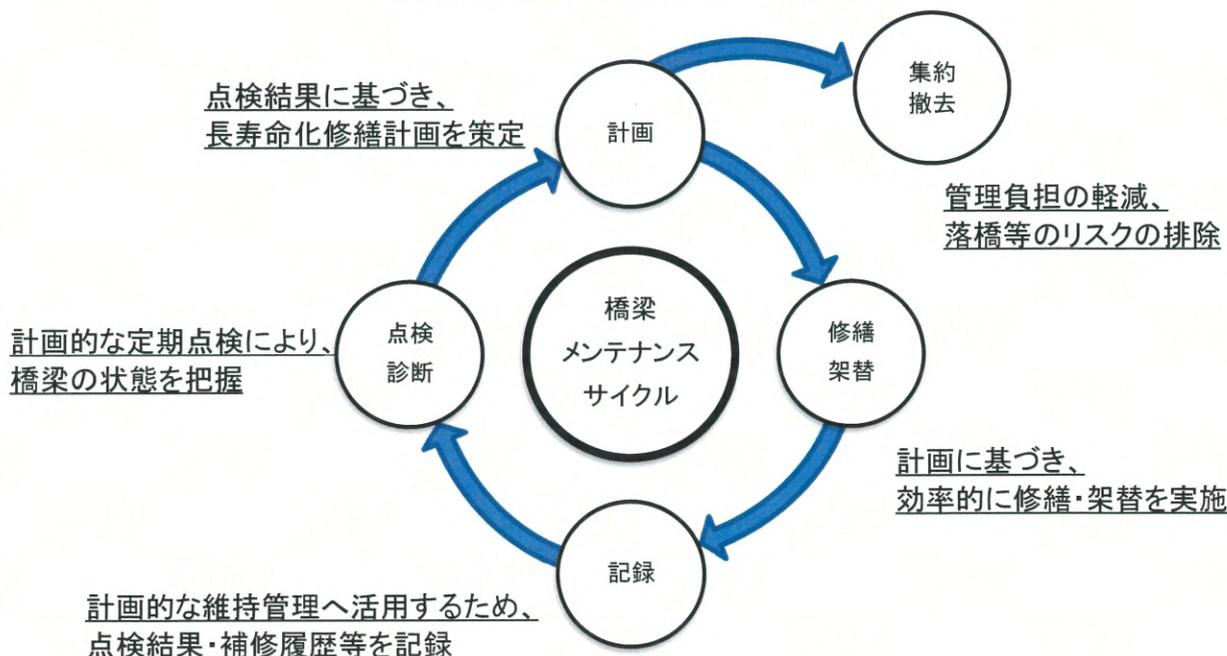
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：(出典)国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、町職員及び委託業者によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図

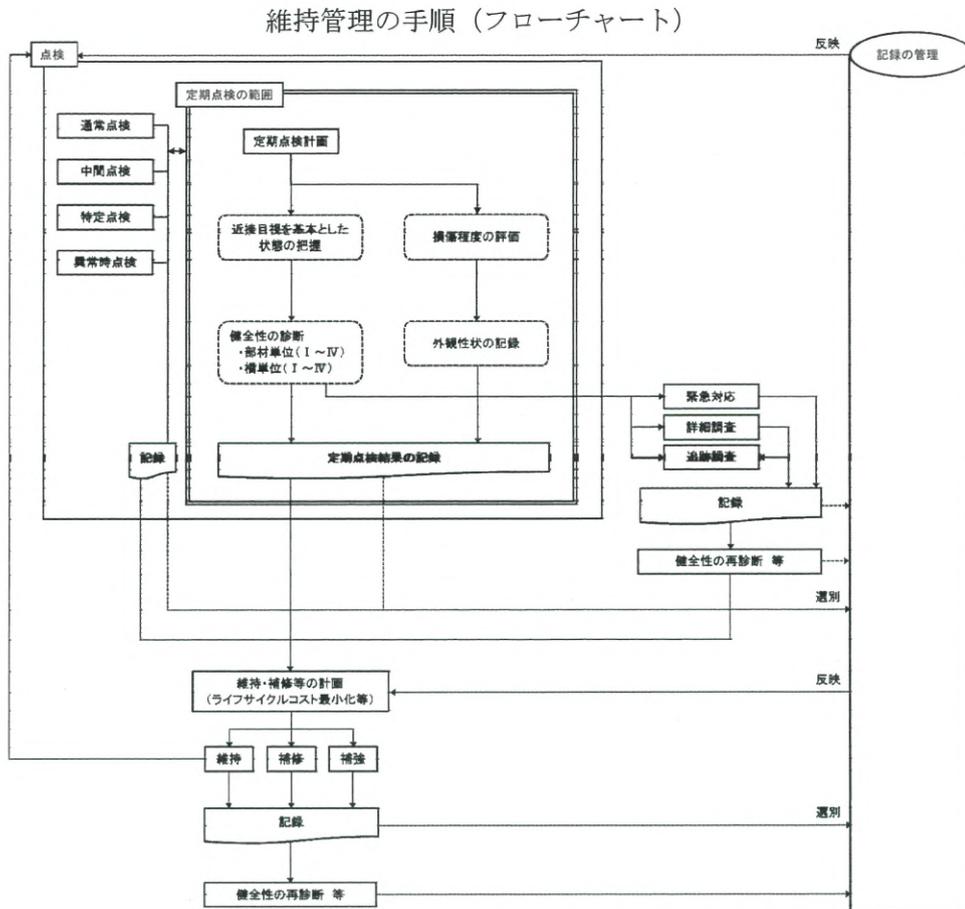


3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。(計画期間：2023年～2072年)

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
 (3. 対策の優先順位の考え方)

小野町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の83%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年以上とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面 洗浄	桁 洗浄
S	本橋予防保全型 ・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4) にしない	原則架替え は行わない	○	○	② ※4	②
A	予防保全型	健全度ランクD(4) にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B	事後保全型	健全度ランクE(5) にしない	60年	○	○		⑤
C	経過観察型 ・重要度該当0 かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5) になるまで	耐用年数 まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1,2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は 橋梁ごとに 設定	※2「日常巡回」は、排水溝の 清掃及び畜産面の堆積土砂 除去を実施(費用は計上せ ず) ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保 全費用を橋梁ごと に計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回	

(・費用の縮減に関する具体的な方針)

小野町の管理橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、損傷程度と健全度、利用状況や代替え路の有無を把握したうえで周辺住民と調整し、橋の統廃合も視野に入れた維持管理を行っていきます。

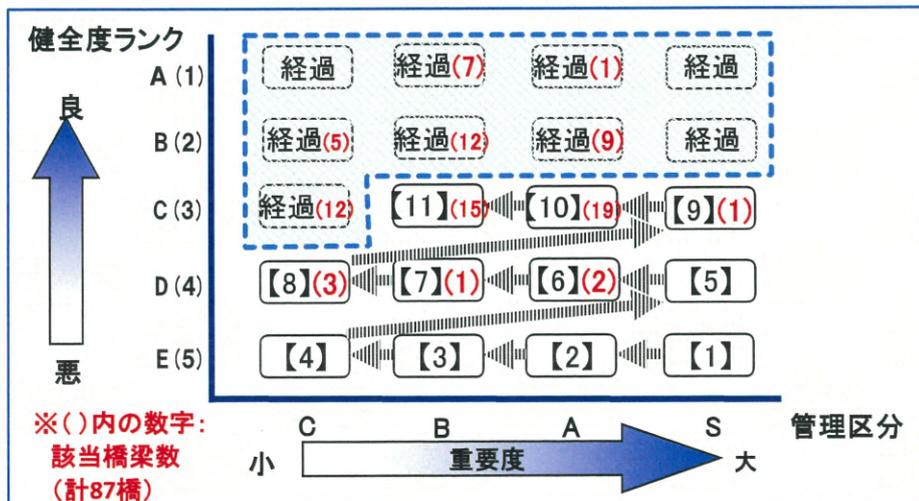
※検討橋梁：80. 団子田橋、69. 大原橋（管理外で維持管理費用が約500万円削減/50年）

また、1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、対策が必要となった時点でボックスカルバート（溝橋の定義外）や横断暗渠への架け替えも検討して、補修費や点検費等の縮減に努めます。

※検討橋梁：48. 鬼石橋（管理外で維持管理費用が約800万円削減/50年）

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下の図により管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



3) 橋梁毎の点検結果 (4. 個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

小野町は令和3年度、令和4年度に近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

定期点検結果一覧
(判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」以上を抜粋：計53橋/87橋)

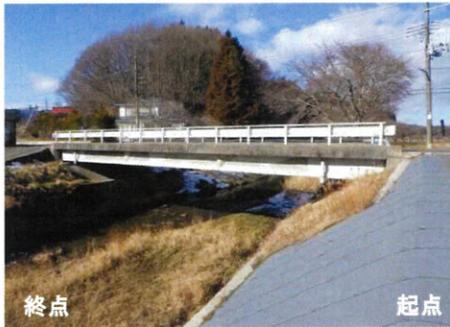
番号	管理番号	橋梁名	橋長(m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員(m)	竣工年	経過年	前回健全度区分	今回健全度区分	今回健全度ランク	部材種別	適用
1	0014	坂東内橋	24.50	1	PC橋	ボステント桁	6.75	1978	45	Ⅱ	Ⅲ	D(4)	主桁、横桁	ひびわれ、剝離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
2	0011	稲荷橋	36.80	2	PC橋	プレテン床版	9.00	1974	49	Ⅱ	Ⅲ	D(4)	床版	漏水・遊離石灰
3	0071	百目木橋	5.55	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1971	52	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	下部工	洗堀
4	0076	富貴橋	4.55	1	RC橋	RC桁橋(その他)	2.74	1965	58	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	主桁	剝離・鉄筋露出、変形・欠損
5	0082	宮ノ下橋	3.80	1	RC橋	RC 中実床版	2.70	1971	52	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	下部工	ひびわれ、変形・欠損、移動
6	0080	団子田橋	4.60	1	木橋	その他(木橋)	1.90	2003	20	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	主桁、床版	腐食、防食機能の劣化、破断
7	0019	高野橋	37.66	3	PC橋	ラーメン橋	5.00	1998	25	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ
8	0060	観音橋	5.80	1	RC橋	RC 中実床版	5.00	1969	54	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	漏水・遊離石灰、変形・欠損
9	0004	平館橋	33.00	3	PC橋	プレテン床版	5.55	1958	65	I	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
10	0059	李作橋	6.40	1	RC橋	RC 中実床版	6.75	1978	45	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰
11	0028	日影橋	16.90	1	PC橋	プレテンT桁	7.50	1990	33	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ
12	0058	辻の内橋	6.40	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1978	45	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	洗堀、変形・欠損
13	0049	日影2号橋	2.40	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルパート)	7.30	1992	31	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁	漏水・遊離石灰、変形・欠損
14	0007	町屋橋	55.97	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	3.03	1970	53	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、床版、下部工	腐食、防食劣化、鉄筋露出、遊離石灰、ひびわれ、洗堀、移動、傾斜
15	0066	永志田下橋	5.95	1	RC橋	RC T桁	4.50	1965	58	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、床版、下部構造	剝離・鉄筋露出、遊離石灰、欠損、補修補強材傷
16	0009	原橋	56.00	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	3.70	1970	53	I	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	鉄筋露出、うき、遊離石灰、ひびわれ
17	0003	五條橋	14.95	1	RC橋	RC T桁	2.14	1935	88	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、床版、下部工	剝離・鉄筋露出、変形・欠損
18	0005	折ノ内橋	15.06	2	RC橋	RC T桁	5.04	1959	64	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	剝離・鉄筋露出
19	0008	村木橋	55.98	2	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1970	53	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	腐食、防食劣化、鉄筋露出、うき
20	0015	羽黒橋	17.00	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.30	1971	52	I	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化
21	0010	穴子橋	49.74	2	H型鋼	H形鋼(不明)	2.50	1972	51	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化
22	0064	川向橋	6.95	1	RC橋	RC 中実床版	4.80	1978	45	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
23	0006	ぼたん橋	14.50	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1971	52	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、床版	腐食、防食機能の劣化、剝離・鉄筋露出
24	0017	滝平橋	16.00	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1977	46	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化、遊間の異常
25	0002	山口橋	18.00	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.30	1983	40	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化、遊間の異常
26	0050	中通橋	4.35	2	RC橋	RC溝橋(BOXカルパート)	6.00	1994	29	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	頂版	その他(隙間)、うき、変形・欠損
27	0013	赤沼橋	30.60	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.00	1971	52	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
28	0070	上阿生田橋	5.45	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1991	32	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	剝離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
29	0068	高平橋	5.00	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1980	43	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰
30	0044	伊達内橋	3.90	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルパート)	6.50	1989	34	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	側壁	ひびわれ
31	0021	石樋橋	28.80	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	8.00	1992	31	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ
32	0033	河向橋	28.38	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	2.50	1985	38	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化、遊間の異常
33	0065	関場上橋	6.95	1	RC橋	RC 中実床版	3.40	1969	54	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版	剝離・鉄筋露出
34	0057	貉の内橋	6.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.45	1969	54	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰、変形・欠損、洗堀
35	0075	三道内1号橋	4.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1969	54	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、うき、その他(隙間)
36	0027	明生内橋	18.10	1	H型鋼	H形鋼(不明)	5.01	1984	39	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁	遊間の異常
37	0073	八又橋	5.40	1	RC橋	RC床版橋(その他)	5.40	1973	50	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰、うき
38	0037	沼ノ作橋	10.00	1	PC橋	プレテン床版	8.00	1991	32	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ
39	0069	大原橋	6.10	1	木橋	その他(木橋)	2.29	1998	25	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	横桁、床版	破断、腐食、防食機能の劣化
40	0061	西平橋	5.47	1	RC橋	RC 中実床版	3.20	1971	52	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰、変形・欠損
41	0079	大和久橋	5.06	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	2022	1	Ⅲ	Ⅱ	C(3)	下部工	変形・欠損
42	0087	登籠橋	3.40	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルパート)	6.80	1985	38	-	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁、底版	漏水・遊離石灰、欠損、その他
43	0062	作田橋	4.95	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1969	54	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	鉄筋露出、うき、ひびわれ、欠損
44	0077	鹿島橋	14.57	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルパート)	4.00	2013	10	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁	ひびわれ、漏水・遊離石灰
45	0081	石ノ平橋	4.00	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1976	47	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	鉄筋露出、欠損、漏水、ひびわれ、うき
46	0047	松ノ下橋	3.00	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルパート)	2.60	1986	37	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁	漏水・滞水、沈下・移動・傾斜
47	0083	五ノ神橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	3.60	1969	54	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版	床版ひびわれ、遊離石灰、剝離、うき
48	0045	南府中橋	3.40	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルパート)	5.00	1989	34	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	頂版	漏水・遊離石灰
49	0063	水檜橋	4.55	1	RC橋	RC 中実床版	4.01	1971	52	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、遊離石灰、移動、洗堀
50	0043	三王堂橋	2.85	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルパート)	5.50	1980	43	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	側壁	剝離・鉄筋露出、うき、定着部の異常
51	0046	風越橋	3.10	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1993	30	I	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰
52	0085	関場下橋	3.70	1	RC橋	RC 中実床版	3.15	1971	52	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	腐食、防食機能の劣化、沈下・移動・傾斜
53	0048	鬼石橋	2.65	1	RC橋	RC 中実床版	3.40	1975	48	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁	漏水・遊離石灰、変形・欠損

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係 (計87橋)

区分	状態	健全度ランク	判定区分	備考	該当橋梁数	割合	
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない	8橋	11%
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	26橋	35%
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態	C(3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	47橋	64%
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が高く、 緊急に措置を講ずべき状態	D(4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	6橋	8%
			E(5)	緊急対応の必要	緊急対応の必要がある	0橋	0%

4) 主要部材の損傷状況 (4. 個別施設の状態等)

4-1) 主要部材の損傷写真: 判定区分「Ⅲ」・健全度「D(4)」の橋梁 (1)



橋梁左側



主桁側面の遊離石灰、斜め方向ひびわれ

14. 坂東内橋: ポステンT桁橋、橋長:24.50m、1径間、1978年竣工(45年経過)
町道リカちゃん通り線(迂回路有り)

主桁側面に遊離石灰を伴った斜め方向ひびわれ。
内部鋼材の腐食の進行は耐荷力の低下につながる。詳細調査が必要。(判定区分「Ⅲ」)。
令和5年度補修詳細調査設計実施予定、令和7年度補修工事実施予定。



橋梁左側



間詰め部のつらら状遊離石灰

11. 稻荷橋: プレテン床版橋、橋長:36.80m、2径間、1974年竣工(45年経過)
1級町道坂東内・小野山神線(迂回路有り)。

主桁下面に剥離、間詰め部につらら状の遊離石灰析出。
雨水の浸入により進行する可能性がある(判定区分「Ⅲ」)。
令和4年度補修詳細調査設計実施中、令和6年度補修工事実施予定。



橋梁右側



橋台基礎の洗堀

72. 百目木橋: RC中実床版、橋長:5.55m、1径間、1971年竣工(52年経過)
町道百目木・折ノ内線(迂回路有り)

橋台基礎の洗堀。
下部工基礎部の洗堀により鉛直支持機能の低下が推測される(判定区分「Ⅲ」)。

4) 主要部材の損傷状況 (4. 個別施設の状態等)

4-1) 主要部材の損傷写真: 判定区分「Ⅲ」・健全度「D(4)」の橋梁 (2)



橋梁右側



主桁の鉄筋露出

76. 富貴橋: RC桁橋、橋長:4.55m、1径間、1965竣工(58年経過)
町道富貴線(迂回路有り)
主桁に著しい鉄筋露出。

露出鉄筋の著しい腐食により耐荷力の低下が推測される(判定区分「Ⅲ」)。



橋梁右側



橋台石積の崩落、ずれ

82. 宮ノ下橋: RC中実床版橋、橋長:3.80m、1径間、1971年竣工(52年経過)
町道宮ノ下・八幡線(迂回路有り)
橋台石積の崩落、ずれ。

石積のズレにより鉛直支持機能を喪失していると推測される(判定区分「Ⅲ」)。



橋梁右側



桁端部の木部材の腐朽

80. 団子田橋: 木橋(人道橋)、橋長:4.60m、1径間、2003年竣工(20年経過)
町道荒町・団子田線(迂回路無し)

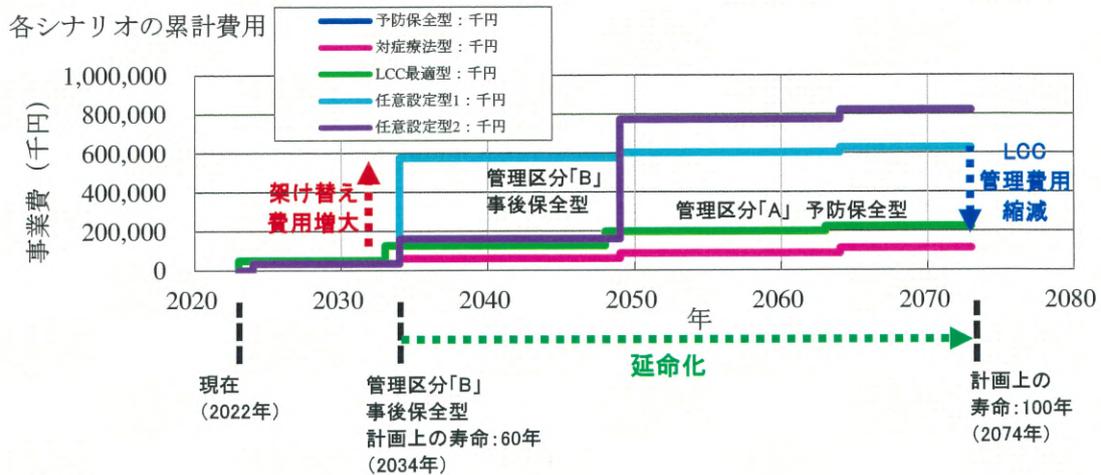
木部材に著しい腐朽、路面に横断方向の傾斜。
腐朽の進行により床版が脱落する可能性が高い(判定区分「Ⅲ」)。

5) 長寿命化修繕計画上の寿命設定について

管理区分「B」（事後保全型）の橋梁は、管理区分設定の条件となる重要度指標項目が0または1つである橋梁で、計画上の寿命設定（計画寿命）を60年としています。
 小野町における管理区分「B」の橋梁計55橋のうち、供用後50年以上を経過している橋梁は21橋あり、10年以内に計画寿命を迎えるため更新が必要となり、架け替えのため費用が増大します。下表に示す11. 稲荷橋（1974年竣工）の例では、2034年に計画寿命の60年となり、架け替え費用が増大することになります。しかし、55橋のうち53橋については定期点検の判定区分が「I」または「II」であり、当面供用は可能と考えられます。
 上記を考慮し、管理区分「B」の計画寿命を100年に延長して設定し、この変更と併せて、管理区分「A」（予防保全型）の計画寿命を150年に設定しました（下図参照）。

11. 稲荷橋の事業費の推移

プレテン床版橋、橋長:36.80m、1974年竣工(49年経過)、管理区分「B」、判定区分「III」



6) 管理区分の変更について

管理区分「B」（事後保全型）の橋梁において、「1・2級町道、バス路線、2径間以上」のいずれかに該当する以下の24橋梁は、一定の利用者があり今後も重点的な維持管理が必要な橋梁であるため、管理区分「A」（予防保全型）に変更し、予防保全型の維持管理を行って延命化・LCCの縮減を図ります。

【管理区分「A」の予防保全型に変更する橋梁（計24橋：当初管理区分「B」）】

(1：1級町道、2：2級町道、バ：バス路線、径：2径間以上)

- ・判定区分「III」（1橋）： 11. 稲荷橋(バ・径)
- ・判定区分「II」（13橋）： 7. 町屋橋(径)、9. 原橋(2・径)、5. 折ノ内橋(径)、8. 村木橋(径)、15. 羽黒橋(1)、10. 穴子橋(径)、64. 川向橋(1)、50. 中通橋(バ・径)、68. 高平橋(1・バ)、44. 伊達内橋(2)、57. 貉の内橋(2)、75. 三道内1号橋(2)、73. 八又橋(バ)
- ・判定区分「I」（10橋）： 53. 宮ノ前橋(2)、29. 小治郎橋(径)、67. 田光倉橋(2)、38. 山神橋(2)、24. 田尻橋(1)、86. 三道内2号橋(2)、35. おさん橋(径)、40. 沼ノ平橋(2)、30. 松葉橋(径)、32. 荒町橋(径)



11. 稲荷橋

プレテン床版橋、橋長:36.80m
1974年竣工(49年経過)
判定区分:「III」
町道リカちゃん通り線
バス路線、2径間



9. 原橋

鋼I桁橋、橋長:56.00m
1970年竣工(53年経過)
判定区分:「II」
町道北ノ内・宮ノ前線
2級町道、2径間



24. 田尻橋

プレテンT桁橋、橋長:21.40m
1995年竣工(28年経過)
判定区分:「I」
町道田尻・小野赤沼線
1級町道

管理区分「B」：事後保全型から管理区分「A」：予防保全型に変更する橋梁（抜粋）

7) 優先順位の変更について

判定区分「Ⅱ」の橋梁のうち、7. 町屋橋、9. 原橋、5. 折ノ内橋、8. 村木橋の4橋は、上・下部工両方に「Ⅱ」と判定される損傷がある、支承部に「Ⅲ」と判定される損傷がある等、損傷程度が比較的大きいと考えられるため、優先順位を「Ⅱ」の上位としました。



橋梁右側



主桁の腐食(Ⅱ)



支承の沓座モルタル欠損、ボルトゆるみ(Ⅲ)

7. 町屋橋：鋼H桁橋、橋長：51.20m、2径間、1991年竣工（53年経過）、判定区分：「Ⅱ」
主桁の腐食(Ⅱ)、床版の鉄筋露出(Ⅱ)、下部工のひびわれ・遊離石灰(Ⅱ)
支承の沓座モルタル欠損、ボルトゆるみ(Ⅲ)。



橋梁右側



床版の鉄筋露出(Ⅱ)



下部工のひびわれ・遊離石灰(Ⅱ)

9. 原橋：鋼I桁橋、橋長：56.00m、2径間、1970年竣工（53年経過）、判定区分：「Ⅱ」
床版の鉄筋露出(Ⅱ)、下部工のひびわれ・遊離石灰(Ⅱ)
支承の沓座モルタル欠損、ボルトゆるみ(Ⅱ)。



橋梁左側



主桁の鉄筋露出(Ⅱ)、支承の腐食(Ⅲ)



下部工の鉄筋露出(Ⅱ)

5. 折ノ内橋：RCT桁橋、橋長：15.06m、2径間、1959年竣工（64年経過）、判定区分：「Ⅱ」
主桁の鉄筋露出(Ⅱ)、下部工の鉄筋露出(Ⅱ)、支承の腐食(Ⅲ)、路面の凹凸(Ⅱ)。



橋梁右側



主桁の腐食(Ⅱ)、支承の腐食(Ⅲ)



下部工の鉄筋露出(Ⅱ)

8. 村木橋：鋼H桁橋、橋長：55.98m、2径間、1970年竣工（53年経過）、判定区分：「Ⅱ」
主桁の腐食(Ⅱ)、下部工の鉄筋露出(Ⅱ)、支承の沓座モルタル欠損、ボルトゆるみ、腐食(Ⅲ)。

優先順位を上位に変更した橋梁（判定区分「Ⅱ」：4橋）

8) 撤去・集約化、費用縮減に関する計画について

令和5年度末時点で、集約・撤去の対象となる橋梁はありませんが、今後の法定点検の結果及び利用状況等を踏まえ、必要に応じて集約・撤去を検討していきます。

80. 団子田橋（判定区分「Ⅲ」）は、管理区分「C」（経過観察型）の木橋（人道橋）で、腐朽が進み今後の補修対策は困難と考えられます。路線状況として、本橋の利用者は非常に少ないため、優先順位を最下位とし、対策が必要となった段階で町が撤去等の方針を検討し、それまでは経過観察を行い、補修費用及び撤去後の管理費用の削減を図ります。

69. 大原橋（判定区分「Ⅱ」）は管理区分「B」（事後保全型）の木橋（人道橋）で、今後の補修対策は困難と考えられます。路線状況として、本橋の利用者は少ないため、経過観察型「C」に変更し、対策が必要となった段階で町が更新また撤去の方針を検討し、それまでは経過観察を行い、補修費用及び撤去後の管理費用の削減を図ります。

（※2橋を管理外とすることで試算上の維持管理費用が約500万円削減/50年）



起点側から撮影



右側から撮影



終点側から撮影

80. 団子田橋：木橋（人道橋）、橋長:4.60m、2003年竣工（20年経過）、町道荒町・団子田線
管理区分「C」（経過観察型）、判定区分：「Ⅲ」



起点側から撮影



左側から撮影



終点側から撮影

69. 大原橋：木橋（人道橋）、橋長:6.10m、1998年竣工（25年経過）、町道大原線
管理区分「B」（事後保全型）、判定区分：「Ⅱ」

48. 鬼石橋（判定区分「Ⅱ」）は、管理区分「C」（経過観察型）の小規模なRC床版橋です。本橋は、対策が必要となった段階で、溝橋定義外のボックスカルバートに架け替えを行うことを前提に、経過観察を行い、補修費用及び架け替え後の管理費用の削減を図ります。（※本橋を管理外とすることで試算上の維持管理費用が約800万円削減/50年）



起点側から撮影



右側から撮影



終点側から撮影

48. 鬼石橋：RC中実床版橋、橋長:2.65m、1975年竣工（48年経過）、町道荒町・鬼石線
管理区分「C」（経過観察型）、判定区分：「Ⅱ」

9) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 (5. 対策内容と実施時期)
 (・構造物の諸元、直近の点検結果及び次回点検年度)
 (・対策内容、対策の着手・完了予定年度)
 (・対策に係る全体概算事業費) (6. 対策費用)

様式1-2に、直近10年間の概ねの計画を示します。

補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

●活用促進技術に指定されている新技術の例

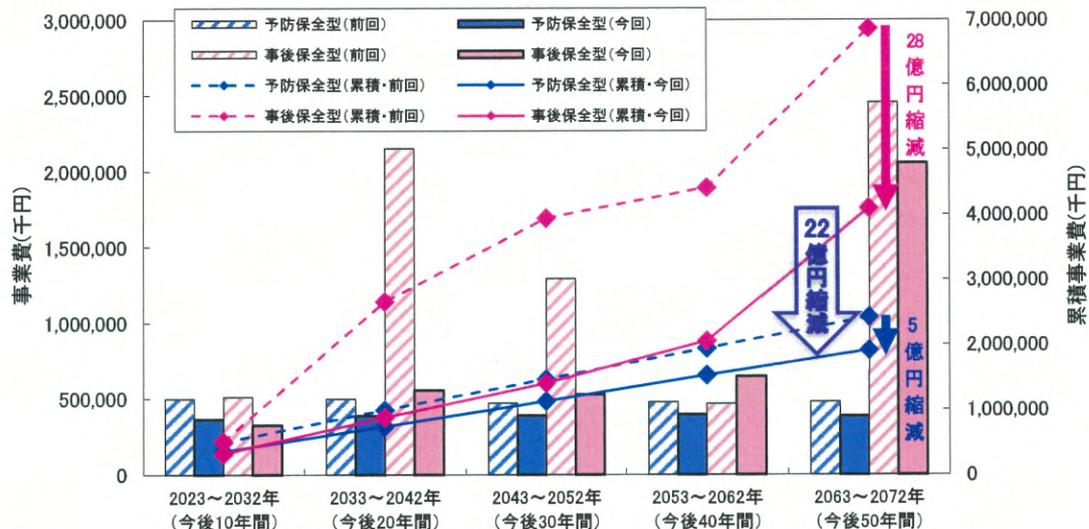
- ・鋼部材の塗装 (錆転換型防食塗装)。
- ・コンクリート部材の補修 (断面修復工、表面含浸工)。
- ・伸縮装置の止水・漏水対策、取替。

様式1-2、優先順位一覧表に概算の事業費を示します。

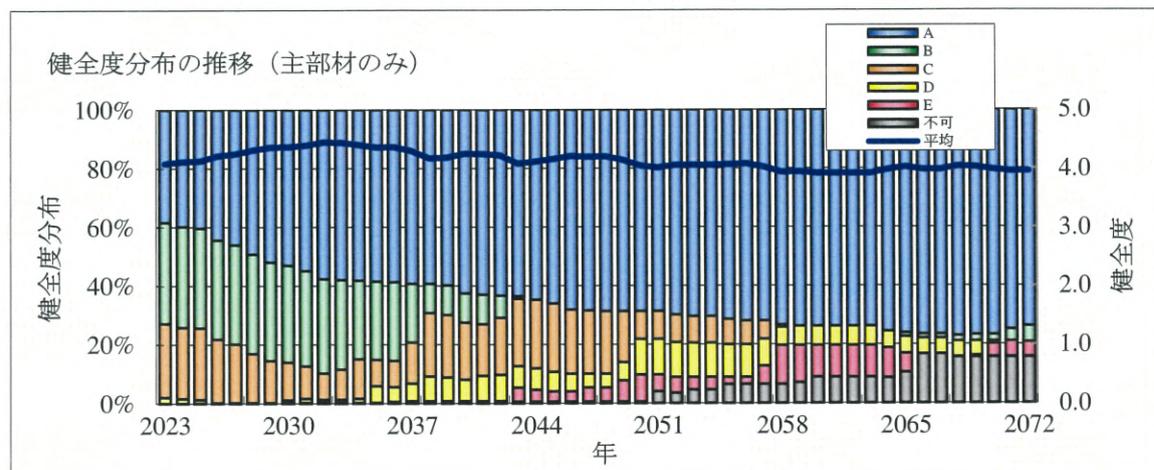
6. 長寿命化修繕計画による効果

小野町が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間の予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する87橋について、年間の予算制約額を0.40億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型 (対症療法型) が41億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が19億円となり、コスト縮減効果は22億円 (53%減) となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
小野町 地域整備課 tel:0247-72-6937

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式1-2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（直近10年間）

年間予算額：0.40億円

凡例： ← → 対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

番号	橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円)※			
									R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032				
1	稲荷橋	その他	リカちゃん通り線	36.80	1974	49	R3	III														56,464
2	坂東内橋	1級	坂東内・小野山神線	24.50	1978	45	R3	III														39,607
3	百目木橋	その他	百目木・折ノ内線	5.55	1971	52	R3	III														1,031
4	富貴橋	その他	富貴線	4.55	1965	58	R3	III														6,715
5	宮ノ下橋	その他	宮ノ下・八幡線	3.80	1971	52	R4	III														3,556
6	町屋橋	その他	町屋線	55.97	1970	53	R3	II														32,000
7	原橋	2級	北ノ内・宮ノ前線	56.00	1970	53	R3	II														43,132
8	折ノ内橋	その他	河和久線	15.06	1959	64	R3	II														34,608
9	村木橋	その他	浮内線	55.98	1970	53	R3	II														17,135
10	高野橋	その他	高野線	37.66	1998	25	R3	II														
11	羽黒橋	1級	小野赤沼・谷津作線	17.00	1971	52	R3	II														10,634
12	穴子橋	その他	石ノ平・穴子線	49.74	1972	51	R3	II														22,341
13	観音橋	2級	上羽出庭・和名田線	5.80	1969	54	R4	II														8,911
14	平館橋	1級	久戸塚・松太郎内線	33.00	1958	65	R3	II														4,000
15	川向橋	1級	田尻・小野赤沼線	6.95	1978	45	R3	II														4,496
16	李作橋	1級	坂東内・小野山神線	6.40	1978	45	R3	II														10,131
17	日影橋	2級	日影線	16.90	1990	33	R3	II														
18	中通橋	その他	中通・平館1号線	4.35	1994	29	R4	II														2,625
19	辻の内橋	2級	上羽出庭・和名田線	6.40	1978	45	R3	II														2,353
20	日影2号橋	2級	日影線	2.40	1992	31	R4	II														1,528
21	高平橋	1級	田尻・小野赤沼線	5.00	1980	43	R4	II														911
22	伊達内橋	2級	滝・早渡線	3.90	1989	34	R4	II														5,255
23	猪の内橋	2級	沼ノ平・和名田線	6.50	1969	54	R4	II														6,659
24	三道内1号橋	2級	沼ノ平・和名田線	4.30	1969	54	R4	II														5,476
25	八又橋	その他	夏井・上桶売線	5.40	1973	50	R4	II														2,494
26	永志田下橋	その他	永志田・阿勢婦線	5.95	1965	58	R3	II														660
27	五條橋	その他	品ノ木・本町線	14.95	1935	88	R3	II														4,000
28	ぼたん橋	その他	ぼたん橋線	14.50	1971	52	R3	II														15,304
29	滝平橋	その他	滝平線	16.00	1977	46	R3	II														962
30	山口橋	その他	畑ノ作線	18.00	1983	40	R3	II														
31	赤沼橋	その他	万景上・入木前線	30.60	1971	52	R3	II														16,714
32	上阿生田橋	その他	上阿生田線	5.45	1991	32	R4	II														1,185
33	石樋橋	その他	貢中線	28.80	1992	31	R3	II														2,699
34	河向橋	その他	本飯豊・八幡線	28.38	1985	38	R3	II														
35	関場上橋	その他	関場1号線	6.95	1969	54	R4	II														
36	明生内橋	その他	大六線	18.10	1984	39	R4	II														
37	沼ノ作橋	その他	沼ノ作・梅ノ木線	10.00	1991	32	R4	II														
38	西平橋	その他	西平線	5.47	1971	52	R4	II														1,144
39	大和久橋	その他	大和名線	5.06	2022	1	R4	II														631
40	登館橋	その他	田ノ作・館ノ越線	3.40	1985	38	R4	II														
41	作田橋	その他	作田線	4.95	1969	54	R4	II														
42	鹿島橋	その他	武名坂線	14.57	2013	10	R4	II														
43	石ノ平橋	その他	石ノ平・穴子田線	4.00	1976	47	R4	II														
44	松ノ下橋	その他	大沢・松ノ下線	3.00	1986	37	R4	II														

年間予算額：0.40億円

凡例： ←→ 対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

番号	橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円)※		
									R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032			
45	五ノ神橋	その他	五ノ神・道平線	4.00	1969	54	R4	II						点検						点検	
46	南府中橋	その他	南府中線	3.40	1989	34	R4	II						点検						点検	
47	水楢橋	その他	水楢線	4.55	1971	52	R4	II						点検						点検	
48	三王堂橋	その他	宮ノ下・松下線	2.85	1980	43	R4	II						点検						点検	
49	風越橋	その他	風越線	3.10	1993	30	R4	II						点検						点検	
50	大原橋	その他	大原線	6.10	1998	25	R4	II						点検						点検	
51	関場下橋	その他	関場2号線	3.70	1971	52	R4	II						点検						点検	
52	鬼石橋	その他	荒町・鬼石線	2.65	1975	48	R4	I						点検						点検	
53	宮ノ前橋	2級	北ノ内・宮ノ前線	9.45	1964	59	R3	I					点検							点検	
54	小治郎橋	その他	小治郎・松葉線	45.40	2010	13	R4	I						点検						点検	
55	田光倉橋	2級	北ノ内・宮ノ前線	6.00	1978	45	R4	I						点検						点検	
56	山神橋	2級	小野山神・黒森線	8.30	1986	37	R4	I						点検						点検	
57	田尻橋	1級	田尻・小野赤沼線	21.40	1995	28	R3	I					点検							点検	
58	三道内2号橋	2級	沼ノ平・和名田線	3.00	2019	4	R4	I						点検						点検	
59	おさん橋	その他	七ツ椀戸ノ内線	11.50	1989	34	R4	I						点検						点検	
60	沼ノ平橋	2級	北ノ内・宮ノ前線	7.30	1978	45	R4	I						点検						点検	
61	松葉橋	その他	松葉線	43.90	2009	14	R4	I						点検						点検	
62	光明院橋	その他	本町・万景上線	30.70	1970	53	R3	I					点検							点検	
63	夫内橋	その他	池ノ作線	18.08	1985	38	R3	I					点検							点検	
64	本飯豊橋	その他	本飯豊線	28.53	1979	44	R3	I					点検							点検	
65	品ノ木橋	その他	品ノ木団地線	23.30	1992	31	R3	I					点検							点検	
66	東光寺橋	その他	東光寺線	24.55	1990	33	R3	I					点検							点検	
67	早渡橋	その他	武須川	7.30	1980	43	R4	I						点検						点検	
68	五反田橋	その他	五反田・仲田線	29.10	1996	27	R3	I					点検							点検	
69	寺前橋	その他	無量寺線	15.95	1976	47	R3	I					点検							点検	
70	漆平橋	その他	大原線	7.10	1968	55	R3	I					点検							点検	
71	古南府中橋	その他	古南府中線	5.20	1973	50	R4	I						点検						点検	
72	愚場地橋	その他	愚場地線	5.45	1975	48	R4	I						点検						点検	
73	北ノ前橋	その他	北ノ前線	8.10	1986	37	R4	I						点検						点検	
74	蕨平上橋	その他	蕨平線	7.10	1980	43	R4	I						点検						点検	
75	李作2号橋	その他	李作2号線	4.60	1996	27	R4	I						点検						点検	
76	千保橋	その他	堀切線	4.35	1976	47	R4	I						点検						点検	
77	蕨平下橋	その他	蕨平線	2.10	1980	43	R4	I						点検						点検	
78	樋口橋	その他	石ノ平・穴子田線	2.10	2020	3	R4	I						点検						点検	
79	荒町橋	その他	本町・荒町線	38.30	2022	1	R3	I					点検							点検	
80	木田橋	その他	鳥越線	19.51	1989	34	R3	I					点検							点検	
81	鉢塚橋	その他	鉢塚線	11.80	1976	47	R4	I						点検						点検	
82	中通橋	その他	中通3号線	6.06	1980	43	R4	I						点検						点検	
83	杉内橋	その他	杉内線	12.60	1989	34	R4	I						点検						点検	
84	観音橋	その他	戸ノ内線	11.50	1989	34	R4	I						点検						点検	
85	宮之前橋	その他	宇東・七ツ椀線	10.60	1990	33	R4	I						点検						点検	
86	長生橋	その他	本町・万景上線	14.70	2021	2	R4	I						点検						点検	
87	団子田橋	その他	荒町・団子田線	4.60	2003	20	R4	III						点検						点検	
合計 (千円)																					
									56,464	39,606	39,357	39,970	39,886	39,040	32,259	37,966	36,809				

※1：費用は工事費のみを計上しているため、点検費・設計費については別途計上すること。

※2：工事費は概算であるため、工事発注の際は別途積算すること。

優先順位一覧 制約0.4億円

■:健全度B(5) ■:健全度D(4) ■:健全度C(3) ■:健全度B(2) ■:健全度A(1)

番号	橋梁名	諸元							重要度評価指標							総合評価指標					部材健全度		優先順位 (A=100-B)	優先順位 区分	管理区分内訳										今後50年補修費用			橋梁名			
		橋長(m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員(m)	竣工年	経過年	緊急 輸送路	道路 等級	緊急 輸送路	橋長	車道 幅員	道路 区分	バス 路線	交差 条件	重要度 合計(A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)	部材 種別			健全度 ランク	緊急 輸送路	道路 区分	バス 路線	該当数	評価 (1)	交差 条件	評価 (2)	橋長 5m未満	カルバート 特異形式	評価 (3)	余寿命 (年)	今後5年 (百万円)		残り (百万円)	合計 (百万円)	
0011	稲荷橋	36.80	2	PC橋	プレテン床版	9.00	1974	49	-	その他	0	5	10	0	10	0	25	0.0	15.0	15.0	10.0	床版	D(4)	115.0	1	6	A	-	-	○	1	B	-	-	-	B	50以上	56.5	119.4	175.9	稲荷橋
0014	坂東内橋	24.50	1	PC橋	ボスデンT桁	6.75	1978	45	-	1級	0	5	10	10	10	0	35	5.0	40.0	60.0	35.0	主部材	D(4)	100.0	2	6	A	-	○	○	2	A	-	-	-	B	50以上	39.6	70.1	109.7	坂東内橋
0071	百目木橋	5.55	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1971	52	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	70.0	20.0	75.0	55.0	下部工	D(4)	50.0	3	7	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	48	1.0	3.3	4.3	百目木橋
0076	富貴橋	4.55	1	RC橋	RC桁橋(その他)	2.74	1965	58	-	その他	0	0	0	0	0	0	0	20.0	45.0	85.0	50.0	主部材	D(4)	50.0	4	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	C	50以上	6.7	17.0	23.7	富貴橋
0082	宮ノ下橋	3.80	1	RC橋	RC 中実床版	2.70	1971	52	-	指定なし	0	0	0	0	0	0	0	70.0	20.0	75.0	55.0	下部工	D(4)	45.0	5	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	C	50以上	3.6	4.3	7.9	宮ノ下橋
0007	町屋橋	55.97	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	3.03	1970	53	-	その他	0	10	5	0	0	0	15	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	91.7	6	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	29.3	17.9	47.3	町屋橋
0009	原橋	56.00	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	3.70	1970	53	-	2級	0	10	5	5	0	0	20	40.0	35.0	45.0	40.0	床版	C(3)	80.0	7	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	B	50以上	0.0	67.4	67.4	原橋
0005	折ノ内橋	15.06	2	RC橋	RC T桁	5.04	1959	64	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	71.7	8	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.0	74.2	74.2	折ノ内橋
0008	村木橋	55.98	2	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1970	53	-	その他	0	10	5	0	0	0	15	30.0	35.0	65.0	43.3	主部材	C(3)	71.7	9	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.0	52.6	52.6	村木橋
0019	高野橋	37.66	3	PC橋	ラーメン橋	5.00	1998	25	-	その他	0	5	5	0	0	10	20	60.0	40.0	70.0	56.7	下部工	C(3)	63.3	10	9	S	-	-	-	0	C	○	S	-	B	-	0.0	83.2	83.2	高野橋
0015	羽黒橋	17.00	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.30	1971	52	-	1級	0	5	5	10	0	0	20	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	71.7	11	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	B	50以上	10.6	23.0	33.6	羽黒橋
0010	穴子橋	49.74	2	H型鋼	H形鋼(不明)	2.50	1972	51	-	その他	0	5	0	0	0	0	5	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	71.7	12	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.0	47.3	47.3	穴子橋
0060	観音橋	5.80	1	RC橋	RC 中実床版	5.00	1969	54	-	2級	0	0	5	5	10	0	20	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	70.0	13	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	B	50以上	8.9	13.6	22.5	観音橋
0004	平笠橋	33.00	3	PC橋	プレテン床版	5.55	1958	65	-	1級	0	5	5	10	10	0	30	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	65.0	14	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	B	50以上	0.0	9.6	9.6	川向橋
0064	川向橋	6.95	1	RC橋	RC 中実床版	4.80	1978	45	-	1級	0	0	5	10	0	0	15	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	65.0	15	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	B	50以上	10.1	24.1	34.2	李作橋
0059	李作橋	6.40	1	RC橋	RC 中実床版	6.75	1978	45	-	1級	0	0	10	10	10	0	30	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	65.0	16	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	B	50以上	0.0	65.5	65.5	日影橋
0028	日影橋	16.90	1	PC橋	プレテンT桁	7.50	1990	33	-	2級	0	5	10	5	10	0	30	65.0	40.0	95.0	66.7	下部工	C(3)	63.3	17	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	B	50以上	0.0	16.5	16.5	中通橋
0050	中通橋	4.35	2	RC橋	RC桁橋(BOXカルバート)	6.00	1994	29	-	指定なし	0	0	10	0	10	0	20	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	60.0	18	10	A	-	-	○	1	B	-	-	○	C	50以上	2.4	7.9	10.3	辻の内橋
0058	辻の内橋	6.40	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1978	45	-	2級	0	0	5	5	10	0	20	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	55.0	19	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	B	50以上	0.0	4.0	4.0	日影2号橋
0049	日影2号橋	2.40	1	RC橋	RC桁橋(BOXカルバート)	7.30	1992	31	-	2級	0	0	10	5	10	0	25	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	55.0	20	10	A	-	○	○	2	A	-	-	○	C	50以上	0.0	4.0	4.0	日影2号橋
0068	高平橋	5.00	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1980	43	-	指定なし	1級	0	0	5	10	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	21	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	B	50以上	0.0	5.2	5.2	高平橋
0044	伊達内橋	3.90	1	RC橋	RC桁橋(BOXカルバート)	6.50	1989	34	-	2級	0	0	10	5	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	22	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	B	50以上	0.0	9.6	9.6	伊達内橋
0044	伊達内橋	3.90	1	RC橋	RC桁橋(BOXカルバート)	6.50	1989	34	-	2級	0	0	10	5	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	22	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	B	50以上	0.0	9.6	9.6	伊達内橋
0057	猪の内橋	6.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.45	1969	54	-	2級	0	0	5	5	0	0	10	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	45.0	23	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	B	50以上	6.7	5.8	12.4	猪の内橋
0075	三道内1号橋	4.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1969	54	-	指定なし	2級	0	0	5	5	0	10	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	45.0	24	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	B	50以上	0.0	18.1	18.1	三道内1号橋
0073	八又橋	5.40	1	RC橋	RC床版橋(その他)	5.40	1973	50	-	その他	0	0	5	0	10	0	15	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	35.0	25	10	A	-	-	○	1	B	-	-	-	B	50以上	0.0	5.0	5.0	八又橋
0066	永志田下橋	5.95	1	RC橋	RC T桁	4.50	1965	58	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	81.7	26	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	42	0.0	57.1	57.1	永志田下橋
0003	五條橋	14.95	1	RC橋	RC T桁	2.14	1935	88	-	その他	0	0	0	0	0	0	0	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	76.7	27	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	12	0.0	58.3	58.3	五條橋
0006	ぼたん橋	14.50	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1971	52	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	20.0	70.0	40.0	43.3	主部材	C(3)	61.7	28	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	48	0.0	23.8	23.8	ぼたん橋
0017	滝平橋	16.00	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1977	46	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	61.7	29	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.0	1.0	1.0	滝平橋
0002	山口橋	18.00	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.30	1983	40	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	61.7	30	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.0	27.5	27.5	山口橋
0013	赤沼橋	30.60	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.00	1971	52	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	50.0	35.0	70.0	51.7	下部工	C(3)	58.3	31	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	48	0.0	230.5	230.5	赤沼橋
0070	上阿生田橋	5.45	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1991	32	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	55.0	32	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.0	7.4	7.4	上阿生田橋
0021	石橋橋	28.80	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	8.00	1992	31	-	その他	0	5	10	0	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	33	11	B	-	-	-											